広島県尾道市の取り組み

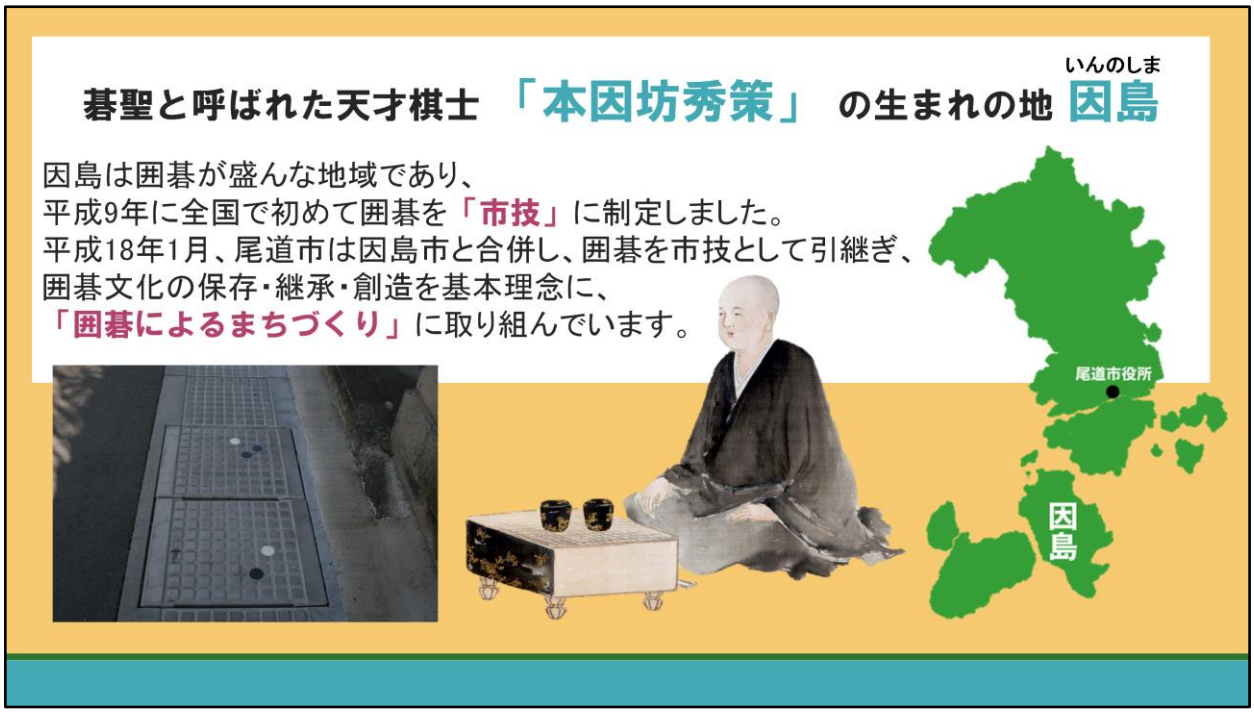
令和5年12月16日（土）

囲碁サミット２０２３ IN くらしき

尾道市は広島県内で2番目となる明治31年4月に市制が施行されました、南東部に位置する市です。

面積はおよそ285平方キロメートル、人口はおよそ12万8千人で、市の木・市の花を「さくら」、市技を「囲碁」としています。

尾道市は日本遺産のまち、映画のまち、芸術文化に出会えるまちとして知られ、長い歴史の中で育まれた、文化の交流が盛んな土地です。



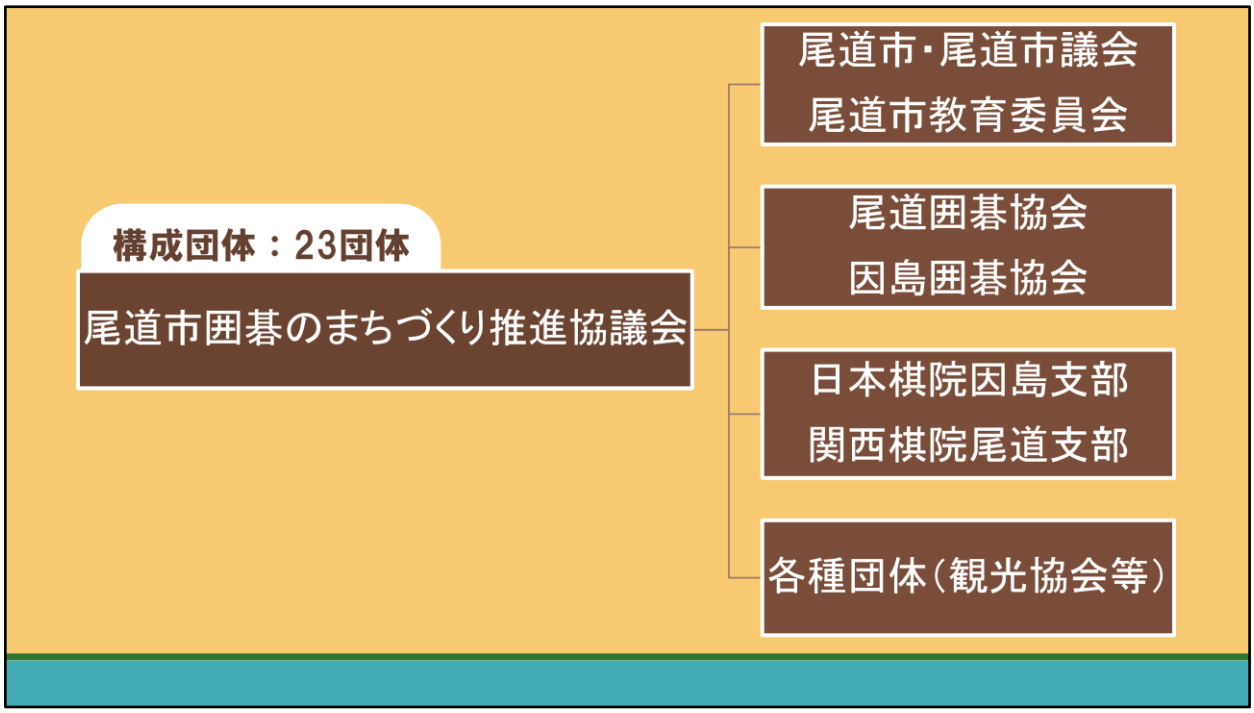
尾道市にある因島は、碁聖と謳われた天才棋士「本因坊秀策」の生誕の地であり、伝統的に囲碁が盛んな地域で、平成9年、全国で初めて囲碁を「市技」に制定しました。

平成18年1月の尾道市と因島市との合併を期に、囲碁を尾道市の「市技」として引継ぎ、囲碁文化の保存・継承・創造を基本理念に「囲碁によるまちづくり」に取り組んでいます。

●○尾道市における『囲碁のまちづくり』の年表

1955年5月	日本棋院因島支部設立
1980年1月	第1回本因坊秀策囲碁まつり
1996年11月	因島囲碁協会設立
1997年1月	尾道市（旧因島市）が囲碁を『市技』に制定
1997年10月	尾道市（旧因島市）囲碁のまちづくり基本構想策定
1998年3月	尾道市（旧因島市）囲碁のまちづくり推進協議会発足
2006年7月	尾道市囲碁のまちづくり推進協議会改組
2007年3月	尾道囲碁協会設立
2008年9月	本因坊秀策囲碁記念館設立

1955年5月の日本棋院因島支部設立以降、本因坊秀策囲碁まつりの開催やタイトル戦の誘致、その他囲碁振興事業を進め、1997年1月に囲碁が市技に制定されたのを期に、1998年3月、囲碁のまちづくり組織として活動する「尾道市囲碁のまちづくり推進協議会」を発足しました。



「尾道市囲碁のまちづくり推進協議会」は尾道市行政関係者だけでなく、市を代表する各種団体や、囲碁協会などで構成され、多彩なイベントを開催しています。

まず本因坊秀策の名を冠した「本因坊秀策囲碁まつり」

現在は年２回開催しており、本因坊秀策囲碁まつりのメインイベントでもあります、全国でも珍しいプロ棋士８人とアマチュア囲碁愛好家８人のトーナメント戦、夏の「本因坊秀策杯」と

春の「女流秀策杯」。

夏の本因坊秀策杯では優勝者に１００万円、準優勝者に３０万円、

春の女流秀策杯では優勝者に５０万円、準優勝者に２０万円の賞金が贈られます。

その他にもアマチュア囲碁愛好家によるクラス別競技大会、

プロ棋士による指導碁や子ども囲碁教室、本因坊秀策囲碁記念館見学・秀策の墓への墓参、前夜祭等、盛りだくさんなイベントになっております。

今年も7月8日、9日に第77回本因坊秀策囲碁まつりを開催し、全国各地のアマチュア囲碁愛好家の皆さんにご参加いただきました。
本因坊秀策杯は24回目となりましたが、初のアマチュア優勝者が出ました。

次回は3月16日、17日に第78回本因坊秀策囲碁まつり（第10回女流秀策杯）を開催します。
日本棋院から5名、関西棋院から3名の女流棋士を、ゲスト棋士に日本棋院所属の山本賢太郎六段をお招きして、市民センターむかいしまで開催します。
女流秀策杯決勝戦の大盤解説やクラス別競技大会、指導碁もありますので、ぜひ、皆様にもご参加いただきたいと思います。

また、本因坊秀策囲碁まつり以外でも普及活動を行っております。

10月には尾道市民を対象とした、尾道市民囲碁大会。今年は10月15日に開催し、94名の参加がありました。クラス別のトーナメント制で行い、最上位クラスで優勝した参加者には「尾道囲碁名人」の称号が贈られます。

子どもへの普及活動も行っており、子ども囲碁大会は年に3回行っております。
6月には日本棋院広島県本部と中国新聞社との共催で文部科学省大臣杯少年少女囲碁大会広島県予選　尾道大会を開催。

1月には本因坊秀策囲碁記念館子ども囲碁大会、3月には本因坊秀策の幼名「虎次郎」に因んだ虎ちゃん囲碁まつりを開催し、多い時にはひとつのイベントで50人ほどのお子さんに参加いただいています。
その他にも、市内の囲碁指導者による囲碁教室を実施し、令和4年度の調査では1年で1,428回教室が開かれて、延10,819人の参加がありました。

また、尾道にお越しいただいた囲碁愛好家のご要望に応じて、似た棋力のボランティアの棋士を派遣し、囲碁の出前対局を行う「碁ランティア」を行っています、囲碁をとおして交流と友好を深めることができると、全国の皆様から好評をいただいています。

平成20年9月に秀策生誕の地に「本因坊秀策囲碁記念館」を開館しました。

秀策ゆかりの品や囲碁関連資料の展示、囲碁教室を行っており、復元した秀策生家を併設しています。
秀策生家は、見学や貸出ができるほかに、タイトル戦を誘致した際に対局場として使用しており、第71期本因坊戦第1局や第37期女流本因坊戦第3局で使用しました。

これからも本因坊秀策囲碁記念館では、秀策を顕彰しながら、碁聖本因坊秀策生誕の地に相応しい「囲碁の殿堂」として、囲碁文化を全国に発信して参ります。

碁清聴
ありがとうございました!!

囲碁人口の減少、囲碁指導者の高齢化等様々な問題を抱えておりますが、囲碁サミット関係者の皆様とともに、地域の囲碁文化を絶やさぬよう、尾道市も引き続き、囲碁によるまちづくりに取り組んでいきたいと思います。